

フォトニュース

田植えで農業体験



▲6月3日、大島小学校の5年生28人が学校付近の田で、田植えに挑戦しました。

参加した半数以上の子どもたちが田植えは初めての体験で「少し水が冷たかったけど楽しかった」「秋の稲刈りやもちつきが楽しみ」などと、感想を語りました。苗は全てもち米で、秋に収穫し、12月にはもちつきをして収穫の喜びを味わう予定です。



みんなで協力して町を清掃しました



▲5月15日、春のクリーンアップ作戦が行われました。当日は、36地区で約3,600人が参加し、約20トンのゴミが集まりました。新緑の中で、子どもから高齢者まで一緒に汗をかきながら、町内を清掃しました。

「発達と保育」について楽しく学びました



▲6月2日、同9日に猪名川高等学校のコミュニケーション型の3年生の授業で、原坂一郎さん(KANSAIこども研究所所長)を講師に招いて、発達と保育の授業が行われました。授業では、子どもとの向き合い方など、講師の楽しい講義を18人の生徒達は、子ども頃に聞いた気持になつて、熱心に聞いていました。同23日も開催されます。

いながわ 歴史ウォーク 99
近世猪名川の食生活
近世の江戸・大坂などでは白米を食べ、惣菜店や外食産業も繁盛していましたが、農村では自作の野菜と麦・稗などを主食とし、米を食べる場合でも雑穀を混ぜていました。それは、収穫米の約半分は年貢に、残りの米は生活費のために売却したため、生産地ではなかなか米食できなかったのです。質素な日々でも、冠婚葬祭時にはご馳走が並びました。町北部に文政11(1828)年3月の法事の献立書が残っており、精進料理ですが、ご飯、汁の他6皿に盛りつけられています。食材は大根・人参・うど・豆腐・ちさ・百合根・干柿・小芋・つと豆腐のつべい・飛龍頭・筍・茗荷・松茸・

蕨・揚げ昆布・蓮根衣かけ・牛蒡・漬物で、村中の人々や親族一同が大いに飲み、食べ、故人を偲んだことが思われます。慶事のときには、これに鮎・あまご・鯉・鮒・鰻などの川魚が並んだことでしょう。昭和には泥鰌と大豆の炊き合わせをよく食べたとも聞きます。



▲道の駅いながわの新鮮な野菜

トライやる・ウィークで仕事体験!

▼道の駅いながわで取材する猪名川中学校の生徒達



▲5月23日〜同27日は中谷中学校と六瀬中学校で、5月30日〜6月3日は猪名川中学校で、2年生を対象とした、地域の中で体験学習をする「トライやる・ウィーク」が実施されました。町役場で広報業務を学んだ中谷、猪名川中学校の生徒達4人は静思館、ふるさと館、道の駅いながわ、給食センターへ取材に行き、各施設でインタビューや写真撮影を行い、ホームページでその魅力を紹介しました。

▲静思館で取材する中谷中学校の生徒達



▶町内の団体、猪名川諸動物愛護福祉協会から寄贈された1mを超える「いなぼう」の石像



▲差組公園の石像

寄贈された「いなぼう」の石像

富士の初夢

▲3年生になるので、大きな夢を持って頑張ろうという思いを込めました。
和氣 佳奈子さん (2年生時の作品)



猪名川中学校



▲二点透視を用いた空間を想像し、細部まで丁寧に描きました。
岡村 武さん (2年生時の作品)

◀印象派の画家モネの作品をアクリル絵の具で模写しました。
吉田 真菜さん (2年生時の作品)

若い生命

▲新年の初めに最高学年になるので、力強い1年にといい思いを込めました。
木下 優さん (2年生時の作品)